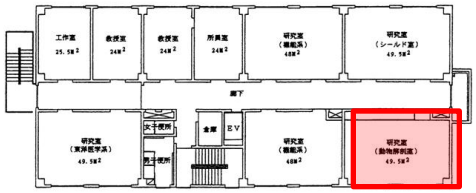
共同利用施設　案内

主任：　岡田　薫
（生理学ユニット）

室名：動物電気生理記録室

場所：5号館3階
内線：272



概要：

中枢神経および末梢神経の細胞外記録および細胞内記録ができます。

共同利用機器備品リスト：

1. 細胞外記録システム＆手術道具
2. 細胞内記録システム
3. 簡単な外科手術道具
4. 電極作成用プラー

メモ：
細胞外記録システムで使用されている機器のうち油圧式マニュピュレーター、スパイクカウンター、オシロスコープ（VC-11)などは、すでに20年以上前の機器です。大切に使用してください。

利用の手引き

動物電気生理記録室（仮称）の利用について

2011. 6. 17.
主任 岡田 薫（内線272）

1. この部屋は、主に電気生理学的手法を用いた実験を行なう実験室です。
2. 実験セットはA：細胞外記録、B：細胞内記録、C：簡単な外科手術を3 セットです。
3. 主な実験動物は、ラットを対象とします。ただし、実験セットB は中動物も可です。
4. 利用を希望される方は、どの実験セットを使うか主任と相談の上、予定表に名前を記入してください。
5. 実験内容により、実験室の仕様が変更される場合があり、使用機器が移動される場合もあります。不都合が生じないよう調整しますので、利用者は必ず使用予定日をカレンダーに記入してください。また、予定していた実験を中止する場合は、すみやかに名前を消してください（他に利用したい人がいる場合があります）。
6. 実験機器の使用はこの実験室内のみで行い、使用後は元の場所・状態に戻してください。無断で移動した場合、手術器具を含め後片づけができない人は、以後の使用をお断りします。
7. 消耗品は基本的に利用者が各自で用意してください。ただし、注射針、シリンジ、メスの刃、試薬（ウレタン、ヘパリン、ハロセン、イソフルレン、ホルマリン、エタノール）は予備で保管しているものから使用していただき適時使用した分を補充してください。使いっ放しで無くなっても気がつかない人、補充のできない人は対象外とします。補充が必要かどうか分からない人は主任に相談してください。
8. キムタオル、キムワイプ、ペーパータオルは実験室の経費でまかないますが、節約を心がけ、無駄な使い方はしないよう気をつけてください。
9. 9. 手術器具はこの実験室内に限り共同利用の対象とします（貸し出しは行ないません）。消耗の激しいピンセットやはさみ、特殊な手術器具は各自で用意し、原則としてその都度持込にしてください。
10. 10. 試薬のうち共同で利用するもの（麻酔薬、ヘパリン、ホルマリン固定液など）は、必要に応じて各自が作成し、作成日と名前を必ず記入してください。
11. 11. 個人的に使用する試薬は名前と作成日を必ず記入してください。また実験で使用する電極や私物などはまとめて箱に入れ、名前を書いて邪魔にならない場所に保管してください。名前のないものは見つけ次第廃棄します。また、実験終了後は、すみやかに片付けてください。
12. 各実験セットの適応と限界など、詳細については主任までお問い合わせください。
13. 実験室内に掲示している指示を厳守し、他の利用者の迷惑にならないよう自覚を持って使用してください。